

BUSINESSフィールド

(株)FILTOM

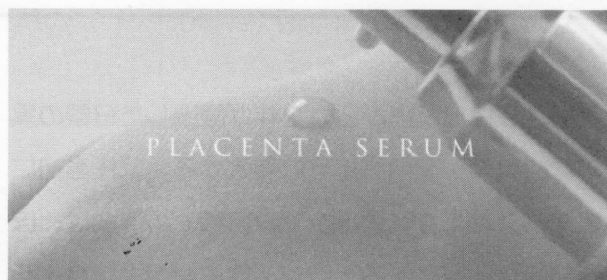
高純度の活性プラセンタを用いた化粧品をリリース

化学ベンチャーの(株)FILTOM(フィルトム、北九州市若松区、竹下聡社長)は、3月3日から独自の分離技術で採取したプラセンタを用いた化粧品を正式にリリースした。

原料となる胎盤は提携している畜産会社から調達し、その組織液を非加熱でそのまま採取するもので、微生物やウイルスを独自の膜分離法により除去。これを基にクリーム(30ml)、セラム(19ml)、ウォーター(50ml)の3種類の化粧品を製品化した。価格(税込)は順に8,640円、12,960円、4,104円。

同社は前職の中心的なスタッフであった現在の役員2人が平成26年3月に独立設立した。かねてから進めていた福岡女子大学名誉教授の真鍋征一博士が開発した平膜分離装置の実用化の一環を承継しており、教育機関や研究所が集積する北九州学術研究都市内の技術開発交流センターに入居。同所で小規模ながら工場も確保しており、開発・製造・販売まで一貫した体制を整えている。

同社の採取したプラセンタはEGF(上皮細胞成長因子)を高濃度で包含。EGFとは皮膚の新陳代謝を整えるために有効とされる成分で、動物の胎盤などから得られる。従来の採取方法では加熱などによる失活や減少が大きな課題であった。同社は、学術データに基づいた採取工法の最適化を、北九州大学の協力を得て実施。県内畜産会社の協力を得て胎盤の回収までさかのぼり、迅速な分析体制を構築し、製造条件別にその濃度を比較した。



その結果、温度などの製造条件や工程に従って濃度が低下していく傾向が確認され、細部まで再検討することができた。採取できたEGFは1mlあたり148ピコグラム(ピコグラムは1グラムの1兆分の1)であり、採取前の胎盤原料と比べ採取後の減少を約3割に止め、7割以上を温存することができた。

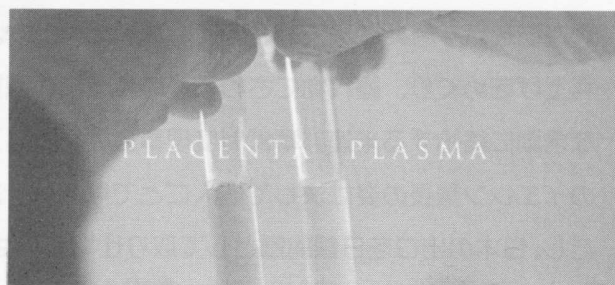
インターネットでの通信販売のほか、西日本を中心に確保した代理店を窓口の販売しており、地元のエステサロンや美容院などにも納入している。口コミで徐々に顧客は増えつつあり、今後は業績上伸を見込む。

今後は有カプロデュース企業との協力を得て、全国区でプロモーションを展開することに加え、海外進出も視野に入れている。すでに韓国やフィリピンでの発売に向けた準備が進んでおり、新たに販売会社も立ち上げる予定。

化粧品についてのお問い合わせは下記まで

※Facebookも更新中

<https://www.facebook.com/filtom>



株式会社 FILTOM

代表者：竹下 聡

住 所：北九州市若松区ひびきの北
1-103-320

TEL：093-616-7972

FAX：093-616-7972

事業内容：活性プラセンタを用いた化粧品の
開発・製造・販売